

# 白鳥誠 市政レポート Vol.97



発行：千葉市議会議員 白鳥誠事務所

〒266-0033 千葉市緑区おゆみ野南2-97-9 TEL.043-293-7130 FAX.043-307-4882  
E-mail: info@m-shiratori.jp URL: www.m-shiratori.jp

## 令和6年 第4回定例会議会報告 (11月26日～12月13日)

政府の地震調査委員会が公表した「全国地震動予測地図」では、千葉市が今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率が60%以上とされています。今年初頭には、能登半島地震が起き、甚大な被害が発生しました。私は、この能登半島の教訓を千葉市の地震対策に活かすべきと思っています。

神谷市長は能登半島地震発生後すぐに、応援体制を組み、多くの職員が派遣されました。今回の代表質問では、私たちの会派(立憲民主・無所属千葉市議会議員団)と自民党・公明党の会派の代表質問への答弁の形で、神谷市長の2期目の挑戦となる、次期市長選(3月16日予定)への出馬表明が行われました。私は、会派を代表して市政に関する代表質問を行い、これまでの市政運営の総括と次期へのビジョンについて、質問しました。今号では、代表質問の内容(一部要約)について、報告します。

### 神谷市長2期目へ挑戦!

**白鳥 質問：**神谷市長1期目の市政運営の総括と今後のビジョンについて(一部要約)

**市長 答弁：**令和3年3月の市長就任以来、緊急対策として、新型コロナウイルス感染症対策、危機管理防災体制の構築に取り組むとともに、中長期的には、「雇用があり、市ならではの福祉が充実して、長く暮らし続けられる千葉市」などを目指す将来像とし、マニフェストに掲げた「5つのビジョンと11の約束」の実現に向け、市民の皆さんが向き合っている地域の課題をうかがいながら、地域福祉と雇用創出を両輪として市政運営を進めてきた。

マニフェストに基づく主な取組みとしては、

**ビジョン① 「徹底した危機管理と災害に強い都市づくり」**では、就任直後に危機管理監を設置し災害対策の初動の迅速化を図るとともに、新型コロナについては切れ目のない対策を実施してきた。

**ビジョン② 「誰もが安心でき、今日より明日がきっとよくなると思えるまちづくり」**では、令和2年度から5年連続で保育所の待機児童ゼロを達成するとともに、子どもルームにおいても、本年4月には初めて待機児童ゼロを達成するなど、子育てしやすい環境の充実に取り組んだほか、2所化する等児童相談所の体制強化や、「こども発達相談室」の開設、小学生向けライトポートの全区設置、ステップルームティーチャ

ーの配置などひとりひとりに合った学習環境を設けたほか、「公立夜間中学千葉市立真砂中学校かがやき分校」の開校など、厳しい状況にある子どもたちへ支援を届ける取組みを実施してきた。

**ビジョン③ 「雇用を生み出す自立した経済圏の確立と都市の基盤整備」**では、トップセールスを行うことにより令和3年4月から先月末までで143件の企業立地を実現して雇用創出や税収増につなげるなど、地域経済の活性化や都市基盤整備に向けた取組みを推進してきた。

**ビジョン④ 「地域のつながりを高め、豊かな感性を磨き、誇りを持てるまちづくり」**では、区役所を中心とした地域支援プラットフォームの構築に向けた取組みを進めるとともに、全ての地区に地域担当職員を配置し、地域と顔の見える関係づくりを進めてきた。

**ビジョン⑤ 「対話と現場主義。立ち止まらない行財政改革。デジタル化と真に市民の役に立つ寄り添う市役所」**では、全ての区やオンラインで「市長と語る会」を実施したほか、「ティーミーティング」も定期的に開催し、今年度中の開催予定も含めると合計141回の市民からご意見を伺う様々な機会を設け、市民生活の向上や地域課題の解決に向けて事業化や制度改善につなげた。また、学校跡施設の利活用や公共施設の複合化による資産経営の取組みなど

を通じ、持続可能な財政運営を進めてきた。

さらに、**県市間の連携**については、知事と市長による千葉県と千葉市の連携推進会議を設置し、協議を重ねてきた結果、消防防災ヘリコプターの広域的な活用とともに、水道事業の広域連携に向けた検討を進めるといった基本的な方向性について合意が得られ、県との連携が図れた。

このように、これまでの市政で様々な成果を上げることができたのは、議会をはじめ市民の皆様の御理解・御協力によるものであり、深く感謝申し上げます。

今後、市政を担わせていただける場合の展望と大切にしていきたい視点として、

**① 職住近接が可能で、子育てと仕事が両立できる千葉市**

**② 市民生活や経済活動に必要な交通手段が確保される千葉市**

**③ 都市機能の中に緑と水辺が感じられ、脱炭素社会のモデルとなる千葉市**

**④ こどもの権利が守られ、確かな学力が身に付き、若者に支援が届く千葉市**

**⑤ ご高齢の方も障害のある方も、地域で長く住み続けられる千葉市**

**⑥ 迅速な初動と避難所が強い防災都市千葉市**  
を大切にしていきたいと考えている。千葉市は、令和8年に**千葉開府900年**を迎える。900年培われてきた「地域のちから」を引き出し、再認識し、さらに高めていくことで、千葉のまちへの愛着と誇りを育み未来を切り拓いていきたいと考えている。

### 今後も神谷市政に期待!!

私たちの会派は、この4年間(1期目の神谷市政)の市営運営について、神谷市長は、財政健全化を進めながら、防災力の強化や未来への投資を積極的に行ってきたと考えています。また、就任早々から、新型コロナウイルス感染症の難題に見舞われ、自らの陣頭指揮のもと、状況を的確に見極めつつ迅速に対策を講じ、市民の暮らしや事業活動が脅かされる困難な状況を乗り越え、市民の声を広く聞きながら市

民生活の向上と市政の発展に努めてきたことを高く評価しています。また、今後の市政運営についても、これまで行ってきた市政運営の基本姿勢はそのままに、市民生活を重点に置いているため、次期も神谷市長に市政運営を担って欲しいと考えています。

\*私は、神谷市長を高く評価していますが、今後も、市長にとって耳が痛いことであっても、必要なときは遠慮なく物を申してまいります。

### 能登半島地震の教訓を活かして!

**質問：**下水道・県営水道含む水道の管路の地震対策について

**答弁：**下水道管は、重要な幹線等に位置付けている845キロメートルを対象に耐震化を進めており、昨年度末までに711キロメートル、84パーセントの管路で耐震性が確保されている。また、市が管理している水道管は、令和3年度から12年度までを計画期間とする「千葉市水道事業中長期経営計画」に基づき、浄水場間や浄水場と避難所などを結ぶ管路の耐震化を進めており、このうち、基幹的な管路と位置付けている導水管、送水管及び口径450ミリメートル以上の配水管、計27.6キロメートルについて、昨年度末までに18.1キロメートル、65.6パーセントの管路で耐震性が確保されている。なお、県営水道区域については、東日本大震災で液状化により甚大な被害が生じた湾岸埋立地域などについて優先的に管路の耐震化を進め、基幹管路678キロメートルのうち、令和4年度末までに419キロメートル、61.7パーセントの管路で耐震性が確保されている。

\*能登半島地震では、道路の寸断等による外部からの応援の遅れ、長期化する断水・避難所の問題等、がありました。国交省が発表した最終取りまとめでは、「耐震化していた施設では概ね機能が確保できていたものの、耐震化未実施であった基幹施設等で被害が生じたことで広範囲での断水や下水管内の滞水が発生するとともに、復旧の長期化を生じさせた。」というものでした。そのため、私は、今後も、早期の耐震化の重要性と県への働きかけを強く訴えてまいります。



## 地域防災力の強化を！

**質問：**土木事務所の大規模災害に備える対応について

**答弁：**大規模災害を想定した訓練として、発災時には、緊急輸送道路の啓開(開通)が最優先されることから、年度当初に関係課と合同で緊急輸送道路のルートや周辺状況の確認をする実走訓練を行っており、橋梁等において段差が発生した場合の応急対応のため設置している土のうステーションの場所や残数などの確認もしている。また、台風などの大雨時には、事前にパトロールを実施し、過去に土砂崩れが起こった箇所の状態や、地下道などの道路冠水が起こりやすい箇所の排水施設の点検・清掃及び通行止めに必要な資機材の確認を行っている。

また、千葉市建設業協会や、電線管理者、千葉市と隣接する9市と災害時の連携について協定を締結しており、毎年2回、災害を想定した訓練を実施している。

地震や台風などの発災後の対応については、パトロールを行い発災後72時間以内に最低限の緊急輸

送道路の通行を確保し、速やかに応急復旧に着手することとしている。また、あらかじめ定めた建設業協会の協会員に土木事務所に参集して頂き、早期に体制を整え、通行止めの措置などが伴う場合には、千葉県交通安全施設業協同組合とも連携する。なお、震度4以上の地震発生時には、職員による緊急輸送道路のパトロールを、震度5強以上の場合には、職員のパトロールに加え、協定に基づき、建設業協会がパトロールと道路啓開活動を行う体制を整えている。

今後も、職員の育成に加え、防災減災の備えを充実させることで、災害対応力の強化に努める。

\*私は今後も、土木事務所予算の拡充を行い、災害への備えや地域住民の生活道路の環境整備等を進めるとともに、土木事務所職員の住民への対応力向上を求めてまいります。



## 千葉市の農業を応援しよう！

**質問：**ブランド「千」の取組みについて

**答弁：**ホームページやSNS等での情報発信や、認定品のイチゴやトウモロコシ等を取り扱ったフェアの開催等、認定品の旬に合わせたイベントやプロモーション活動を実施した。また、魅力ある認定品を創出するため、事業者の商品企画やデザインに関して、専門家によるサポート支援等を行う伴走型支援も実施している。現在、33の商品と5つのサービスの合わせて38件を認定し、そごう千葉店の地下食品売場やイオンネクスト株式会社のECサイト「Green Beans」、JA千葉みらいの「しよいか〜ご千葉店」等、市民の皆様にも認定品を購入いただける環境が整い始めたところであり、引き続き、様々な機会をとらえて「千」の魅力の発信を行っていく。今年度は、農産物、加工食品、サービスあわせて31件の申請があり、来年1月に第5回認定品の公表、2月にイオンモール幕張新都心において認定賞授与式及び販売会を行う予定。「千」のブランド価値の向上により、認定品の増加や販路の拡大、事業者の所得向上といった好循環が生じると考えており、引き続き、認定品創出に向けた取組みや消費者、事業者へのプロモーションを実施していく。特にプロモーション



ョンについては、贈り物として活用出来るカタログギフトや認定事業者自身のPR活動への支援、「千」のターゲット層へ直接届く広告媒体の活用等、さらに「千」の認知度と価値を高められるような新たなプロモーション活動について検討を進めている。

また、農業者や事業者の方にも、「千」に認定されることのメリットを十分に伝えきれていないところがあると認識しており、これまでに増えてきた課題をしっかりと分析し、さらに魅力あるブランドとなるよう、必要な取組みを実施してゆく。

\*私は、今後も「千」のブランドにより千葉市農産物の知名度・イメージが上がり、市全体の農産物売上げが拡大するようなブランドに育てることを求めてまいります。



千葉そごう24コーナー

## 千葉市と千葉県との連携強化による一体的な取組を！

「消防ヘリ」の他「防災対策」、「水道事業」、「農業対策」、「企業誘致」等々についても、県・市が連携強化し、一体となって取り組むことが重要です。千葉市は、千葉県の県都で唯一の政令市であり、その役割責任を果たすことが求められます。同時に、行政の効率化と行政サービスの向上を両立することが求められます。県・市それぞれの組織の損得ではなく、県民・市民

が納める税金をいかに有効に使い、行政サービスの向上が図れるかといった視点が重要です。今後も、私は、この視点で県・市のトップが同じ方向を向いて話し合い、行動することを求めてまいります。



千葉市消防ヘリコプター「おとり1号」

## 千葉市開府900年



千葉開府900年記念  
ロゴマーク・キャッチコピー

平安時代後期の1126年6月1日、桓武平氏である平高望(たいらのたかもち)の子孫、常重(つねしげ)は、現在の緑区大椎町から中央区亥鼻付近に本拠地を移し、初めて「千葉」を名乗りました。千葉市は、2026年、まちが開かれてから900年という大きな節目を迎えますが、千葉開府900年に向けた記念事業の推進体制として、市内経済団体や学術関係団体等による「千葉開府900年記念協議会」を令和5年11月14日に設立しました。千葉市では、市民・企業・団体等が主体的に行動するとともに、互いに連携して活動し、さまざまな記念事業が予定されています。

### 予定イベント(一部)

#### ●千葉市いちごマラソン

タイム計測や順位付けない、家族やグループで「いちご」で喉を潤しながら走るマラソン大会。  
日程：令和7年2月15日(土)  
場所：千葉市民ゴルフ場



#### ●千葉開府まつり2025

「千葉開府900年」、「千葉開府の日」の認知度と千葉開府900年記念事業への参画や関心度を高めるため、千葉開府の日(6月1日)にあわせて理解促進に資するイベントを実施。  
日程：令和7年6月1日(日)  
場所：調整中



千葉開府まつり2024の様子

#### ●千葉市立郷土博物館

##### 展示リニューアル

時期：令和7年11月頃  
場所：郷土博物館



##### ◆リニューアルコンセプト

- 「郷土千葉のあゆみ、そのダイナミズム(躍動感ある変遷)がわかる」博物館への再生
- 千葉がわかる！千葉市ならではの通史展示・千葉氏展示の実現
- 楽しく学ぶ！ここでしかできない体験の創出
- 機能向上！入りやすく、使いやすい施設に刷新

##### ◆展示テーマ

- 陸と海・人とモノを結ぶ「千葉」

改修スケジュール

改修工事：令和6年9月～令和7年10月

オープン：令和7年11月ごろ

\*千葉開府900年については、市HPをご参照ください。または、下記にお問合せ下さい。

問合せ 千葉市都市アイデンティティ推進課：043-245-5660

ファックス：043-245-5534 メール：kaifu900th@city.chiba.lg.jp

白鳥 誠  
プロフィール

1958年 (昭和33年1月30日生まれ)  
1976年 千葉県立木更津高校卒業  
1981年 立教大学を経て、そごう百貨店入社(1999年まで18年間、有楽町そごう勤務)  
2003年 衆議院議員公設秘書  
2007年 (4月)千葉市議会議員選挙において緑区より出馬。初当選  
現在 千葉市議会議員(無所属・5期目)



### ご意見をお聞かせ下さい！

今回取り上げた問題等、市政に関わること何でも結構です。みなさんのご意見をお聞かせください。どうぞよろしくお願いいたします。

E-mail : info@m-shiratori.jp  
F a x : 043-307-4882

市政報告の  
お知らせ

### 令和7年1月25日(土)

13:30~14:30(菅田2丁目第一自治会館) 菅田町2丁目4-37  
15:30~16:30(あすみが丘プラザ・会議室1)

### 令和7年1月26日(日)

10:30~11:30(鎌取コミュニティセンター講習室)